

Tobe Zoological Park of Ehime Pref.

とべZOO

2023
Vol-34
No.4



目次

ZOO ダイアリーグラフ	3
動物病院から	5
Keeper's Note	6
落語の中の動物たち	7
動物園再発見	8
とべとべCOMIC	10
飼育レポート	12
職員紹介	16
読者投稿用紙	17
どうぶつなぞなぞクイズ	19

—表紙説明—

■ノマウマ（野間馬）

英名：Noma Horse

学名：*Equus caballus*

日本に8種残存する在来馬の一種で愛媛県今治市の乃万（野間）地方で保存されており、1988年には今治市の天然記念物に指定されました。体高120cmほどでウマの中でも特に小さい体が特徴です。江戸時代、伊予松山藩が体高4尺（約121cm）未満の馬を農家に払い下げ、ノマウマが誕生しました。おとなしい性格と頑丈で力持ちであることから、主に農作業や荷物の運搬などに役立っていました。

時代が進むにつれ農業の機械化が進み、一時愛媛県内でわずか4頭にまで減少してしまいました。その後、今治市の「のまうまハイランド」を中心に保護活動が行われ、現在では国内各地の動物園などでも飼育されるようになり、日本在来馬の普及啓もう活動に役立っています。

（写真：池田 智亮・文：村上 ひなの）

ZOOダイアリーグラフ

2022.11.1~2023.1.31



~11月12日 アフリカムウ「媛」誕生会~



「媛」が16歳になりました！豪華に飾り付けされた特製ケーキを子どもたちが媛のために運んでくれました。とても美味しそうに食べてくれました♪

~11月13日 計量クイズ~



11月1日は「計量記念日」。動物園でも計量はとても重要なことの一つです！今年のお題は、「ゾウの大腿骨の重さ」と「ウサギの体重」でした！🐰

~12月3日 ホッキョクグマ「ピース」誕生会~



12月2日に「ピース」が23歳を迎えました。氷のケーキをプレゼントされて嬉しそうな様子でした♪誕生会後の抽選会も盛り上がっていました！

~12月28日 干支送り~



トラの「ダイ」からウサギの「レモン」へバトンタッチ！飛躍や向上の1年となりますように！2023年もよろしくお願ひ致します！（*^^*）

【毎月のガイド】

- 毎日「ペンギンのお食事タイム」
- 毎日曜日「ZOO タイム 1130」
- 毎土・日曜日・祝日「ヒポヒポランチ」（有料）
- 第3火曜日「園内まったりお散歩」
- 毎土・日曜日・祝日「ゾウ様のランチ」（有料）
- 第2土曜日・第4日曜日
- 毎日曜日「キリンの瞳に大接近」（有料）
- 「ボランティアガイド」

* 有料ガイドのチケット販売は管理事務所でを行っています。

* コロナウイルス感染拡大予防のため中止することがあります。詳しくは当園HPをご覧ください。

出産報告

12月30日 チンパンジー(♂1)
1月27日 モルモット(不明2)

元気に大きく
育ってね♪

「ロイ(♂)」と「スズミ(♀)」の間に赤ちゃんが誕生しました♪順調に大きくなっています！成長を温かく見守ってください(*^-^*)



搬出報告

12月5日 ヒガシクロサイ(♂1)
12月20日 ミミナガヤギ(♂1)

今までありがとう
元気でね！

11月23日に、ヒガシクロサイの「フー」のお別れ会を行いました。あいにくの雨にもかかわらず、たくさんのお客様にお越しいただきました。



搬入報告

12月20日 マレーバク(♀1)

ようこそ
とべZOOへ！

「ナナハ」が「ダン」のお嫁さんとして日本平動物園から来てくれました！ゆっくりと環境に慣れていってね♪



死亡報告

11月5日 キジバト(♀1)
11月8日 モルモット(♀1)
11月12日 クサガメ(♂1)
11月19日 ヒドリガモ(♀1)
11月20日 マントヒヒ(♂1)
11月28日 ヨツユビハリネズミ(♀1)
12月21日 キューバフラミンゴ(♂1)
1月11日 アカカンガルー(♂1)
1月20日 アカカンガルー(♂1)
1月20日 ポリビアリスザル(♂1)
1月26日 アカカンガルー(♂1)
1月30日 インドクジャク(♀1)

ヨツユビハリネズミの「こまり」は、警戒心が強く神経質でしたが、活発な一面も見せてくれる元気な女の子でした。

マントヒヒの「シンゴ」は鳴き声がたくさんと体格も立派だったため、若い時はリーダー的存在でした。29歳のご長寿でした。



ありがとう、やすらかに…



この1年間で私がいちばん治療をしたのはマントヒヒでした。今回は、一筋縄ではいかないマントヒヒ治療の奮闘記です。現在、とべ動物園ではオス4頭、メス8頭が群れで暮らしています。そのうちの1頭がケガをしたり具合が悪くなったりした時、実は治療よりも“あること”が大変なのです。

治療をするにはまず麻酔をかけなければなりません。麻酔をかけるために1頭のみを小さな部屋に分離したいのですが、当然ひとりになりたくないマントヒヒは群れから離れません。タイミングよく部屋の仕切り扉を閉めようとしても仲間が手で押し返してきたり、体をはさんだりして邪魔をします。



扉を操作する担当者

仕方がないので群れの中にいる状態で麻酔をかけます。動き回る12頭の中の1頭だけに麻酔銃で狙いを定めるのも大変ですが、それ以上に「自分は狙われていない」とわかったマントヒヒたちは、狙わ

れている仲間をかばうように自分の体で隠してしまいます。これには「君たちほんとに賢いね!？」と毎回驚かされます。

なんとか麻酔ができてマントヒヒが眠ったとします。治療をするには他のマントヒヒを部屋から出さなければなりません。そこでも大変なのが、眠っているマントヒヒを他の仲間が引きずって連れ去ってしまうことです。そうならないようにオリ越しから網や棒で連れ去りをガードしますが、特にオスはものすごい剣幕で鋭い牙や大きな声で威嚇してきます。治療が終わってからも最後の難関があります。それは群れにしっかりと戻れるかどうかです。マントヒ

ヒは1頭のオスが複数頭のメスをかかえて小さなグループをつくるのですが、グループのリーダーであるオスがたった数時間でも留守にすると、残されたメスたちが他のオスに取られてしまうことがあります。そうするとメスを取り返そうとしてオス同士のケンカが始まります。群れは大騒ぎで、また新たにケガの治療をしなくてはいけないこともあります。

このように、マントヒヒは治療をするまでの準備や終わった後が大変なのです。どれもこれもマントヒヒは仲間との絆がとりわけ強いのが理由です。私がここ数年で特に印象的だったのは、「バンビ（オス）」と「カメ（メス）」を治療した時です。ケガによってカメを1ヶ月以上群れから隔離していたことがありました。その間、バンビはオリ越しにカメに寄り添って毛づくろいをしていました。無事に治療を終え、群れに戻した時、一目散にカメとバンビは走り寄ってお互いにハグをしました。じつは、バンビがケガをした時に、治療をして群れに戻そうとした際、バンビのグループだったメス3頭が他のオスに取られてしまいました。そんな中、唯一バンビの元に戻ったのがカメだったのです。



ケガ療養中のカメ（左）とバンビ

マントヒヒ治療の奮闘記、いかがだったでしょうか。様々な性格の動物の診療をしていると「そうくるか!」という驚きの行動が見られるので日々新鮮な気持ちになります。

(獣医師 出野 萌子)

Keeper's Note

「本物ガチャ」ができるまで

2022年8月に数量限定で動物の抜け毛をカプセルトイ機で販売した、その名も「本物ガチャ」。実は、この本物ガチャは全てキーパーの手作りです。今回は本物ガチャの企画から製作までの裏側をご紹介します。



商品企画 ～抜け毛を有効活用したい～

コロナ禍で来園者数が落ち込む中で、動物園を盛り上げようと、キーパーがオリジナル商品を製作するプロジェクトを始めました。企画の中で、廃棄している動物の抜け毛や羽根を有効活用したいとのアイデアがあり、思い切って、抜け毛をそのままカプセルトイ機で販売してみることにになりました。そうすることで何が出るかわからないワクワク感を演出できるのではないかと思います。また、毛の質感を直に見て、触ることもできるので、動物への理解がより深まるのではとの思いでした。

ワシントン条約・種の保存法

しかし、動物園で飼育されているすべての動物の抜け毛が販売できるわけではありません。絶滅の危機に瀕している動物は、密猟や違法取引から守るために、国家間の動物の輸出入を規制している「ワシントン条約 (CITES)」や日本国内での販売や譲渡を規制している「種の保存法」で手厚く保護されています。規制対象には、生きている動物だけではなく死亡動物や、はく製、骨、毛、皮、加工品なども含まれます。動物種ごとに規制対象が細かく決められているため、一種ずつ規制対象項目を確認していき、日本国内で毛の販売が可能な動物 (ホッキョクグマ、オランウータン、キリン、フタコブラクダ、ラマ) に決定しました。ちなみに、ライオンやトラなどのネコ科動物の多くは毛や骨、爪も規制対象になっており、たとえ抜け毛といえども販売をすることができません。

製作 ～回収・洗浄・滅菌・瓶詰め・包装～

まずは各飼育担当者に抜け毛を集めてもらうことから始めました。約半年かけて回収し、十分な量を確保できたら、抜け毛を水と中性洗剤で洗い、ゴミや皮脂などの汚れを取り除きます。フタコブラクダ



抜け毛を洗浄中



ガス滅菌機

はたくさんの毛を回収できましたが、ふわふわの毛はフェルト状にカチカチに固まっていて、固まった毛をほぐしながら綺麗な毛を選ぶ作業には時間がかかり苦労しました。その後乾燥させ、寄生虫や菌を死滅させるため、ガス滅菌装置で処理しました。

動物たちの毛をオシャレに飾ってほしいとの思いから、ガラスの小瓶に毛を詰めることにしました。

できるだけ毛の質感がわかりやすくなるように気を付けながら、瓶詰めも手作業で行います。それぞれの動物の毛についての豆知識を載せた解説も添えて包装し、カプセルに詰めたら完成です。



手作業で丁寧に

動物たちの抜け毛を提供することは実際に動物を飼育している動物園にしかできないことです。本物ガチャが、動物とみなさんを繋げる架け橋のようなアイテムとなり、動物のおもしろさ、さらに絶滅の危機に瀕している動物の現状まで考えるきっかけとなれば幸いです。



(濱田 純基)

大好評につき、第一弾はあっという間に完売しました。いま第二弾を鋭意作製中です！



落語の中の動物たち



卯年を迎えて最初の号ということで、ウサギが主人公になっている噺を探したのですが、残念ながら見つけることができませんでした。でも、新年にふさわしいおめでたい動物が出てくる噺があるのですよ。

さあ、おっちょこちょいの男が物知りのご隠居さんの家を訪ねるとおなじみ、噺の幕開けです。

【つる】

物知りで知られるご隠居さんのもとを一人の男が訪ねます。愚にもつかないようなことをあれもこれも「なぜだ？ どうして？」と説明をねだります。最後に「鶴は日本の名鳥だとみんなが言うんだけど、どうしてですか？」いい加減面倒になったご隠居は「ああ、鶴はな、姿が美しくオスメスが一度つがいになると生涯寄り添う。だから名鳥だ」男は「なるほど、でも首が長すぎやしませんか？」と文句を言います。ご隠居は「その通り、だから昔は首長鳥（くびながどり）と言ったものだ。」男は「それが何で鶴になったんですか？」「それはな、ある日老人が浜で遠くを見ていると、唐土（もろこし、遠い土地のこと）の方から首長鳥のオスがつーっと飛んできてポイっと枝に止まった。そのあと、メスがうーっと飛んできて枝にポイっと止まった。そこでツルになったんじゃないか」それを聞いた男はこの話をみんなに吹聴すれば尊敬してもらえると大喜び、「よしっ、早速みんなに聞かせてやるぜ」と飛び出しますが、果たしてこのおっちょこちょいの思惑通りにいくのでしょうか？

おあとは寄席でお楽しみください。



唐土から飛んできたツルのつがい

さて、名前の由来の真偽はともかく、ツルが昔から気品高く貴重な鳥として評価されてきたのは確かでしょう。豊臣秀吉の時代から江戸時代にかけてはツルの密猟が発覚すると死罪になった例もあるのか。一般人にはご禁制の鳥だったのです。

とはいえ、「鶴は千年、亀は万年」「掃き溜めに鶴」「焼野の雉、夜の鶴」など多くのことわざに登場する身近な鳥でもあります。中でもいちばん有名なのは「鶴の一声（つるのひとこえ）」ではないでしょうか？この言葉は「権力者の一言が多く意見を抑え込む」時によく用いられる例えですが、とべ動物園ではまさにこれを実感できるのです。当園ではツルの中でも最も大きな「オオヅル」を一羽飼育しています。アシカのプールの隣がオオヅル舎ですが、あまり目立たないので、オオヅルに気づかない方が多いのです。もちろん何の心構えもないままオオヅルの前に差し掛かったその時、いきなり空気をつんざく「ケルルルル！！」という奇声があがることがあります。後ろから見ていると、あまりの大音量にびっくりしすぎて、思わずびよんと飛び上がってしまう方や泣き出す子どもさんも…。そんな時は「今の声がまさしく『生ツルの一声』なんですよ」とご説明して「聞けてラッキー感」を醸し出すようにしていますが果たして得したと感じていただけているのかちょっと不安です。でも、どうですか？『生ツルの一声』ほんとに生で聞いてみたくなかったですよ？そして最後に衝撃の事実！

ほとんどのツルは足の指の構造のせいで木の枝に



これが犯鳥のオオツル

止まることはできません。日本画によく描かれる松の木に止まるツルはコウノトリの間違いだという説が有力だそうですよ。

(田村 千明)



動物園再発見



第36回 アフリカタテガミヤマアラシ



アフリカタテガミヤマアラシは、主に赤道より北の砂漠地帯を除くアフリカ大陸やイタリアなどの地中海沿岸部にも分布しており、森林地帯のほか、サバンナや乾燥した岩地、2000mを超える高地にも生息しています。

体は白黒のまだら模様の硬くて抜けやすい針で覆われており、特に額から体にかけて細く長い針が名前のおりタテガミのようになって生えています。

とげとげの針が注目されがちですが、とてもかわいい顔をしています。

分類 齧歯目（ネズミのなかま）

ヤマアラシ科

英名 African Porcupine/
Crested porcupine

学名 *Hystrix cristata*

ネズミのなかま！



つばらなおめめ！



かわいいあし！



かわいいおくち！

たべもの

野生では草や木の根、樹皮、果実などを食べているヤマアラシですが、とべ動物園ではキャベツやニンジン、サツマイモ、リンゴ、バナナ、ミカン、食パン、ペレットなどを食べています。



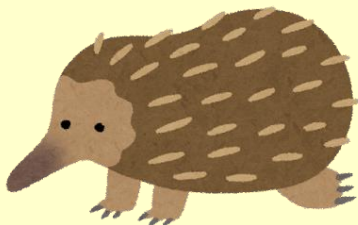
とげとげななかまたち

ハリネズミ



なまえ
名前にネズミとついてはいますが、ネズミのなかまではありません。どちらかというともグラちか どうぶつに近い動物です。

ハリモグラ



なまえ
名前にモグラとついてはいますが、モグラのなかまではありません。どちらかというとかモノちか どうぶつハシなどに近い動物です。

はり 針

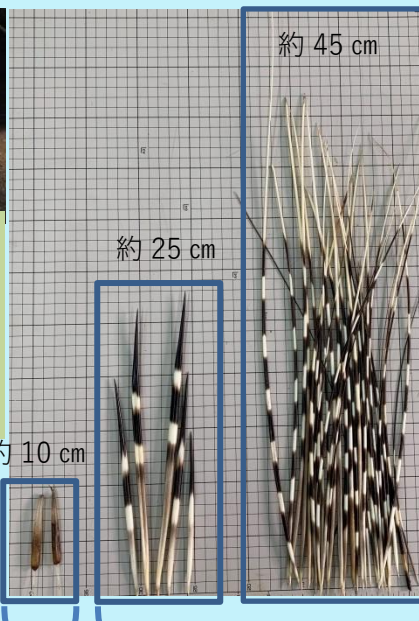
ヤマアラシの針は毛が変化してできており、針を大きく広げて威嚇したり、バックで突進したりして攻撃するのに使います。

また、しっぽのほうの針は短く中が空洞になっており、ストローのような構造になっています。威嚇の時はしっぽを震わせ、カラカラと高い音をたてます。



しっぽの針

10 cm くらいで中は空洞。こすれるとカラカラ鳴る。



せなかの針

中は詰まっ
かたい。

25 cm くらいの方は刺して攻撃するための針。

45 cm くらいの方は体を大きく見せるための針。



約 10 cm

しっぽ

せなか

針の断面



しっぽ以外の針の断面図は左のようになっています。中身の質感は発泡スチロールっぽいです。

ガチャピン♂



ドウ♂



おとうさん

チャロ♀

2022年10月14日に富士サファリパークから来たドウ♂はチャロ♀のお婿さん候補として同居練習しています。2頭はなかよしな様子です。




なかよし！！




動物園の なにげない一日

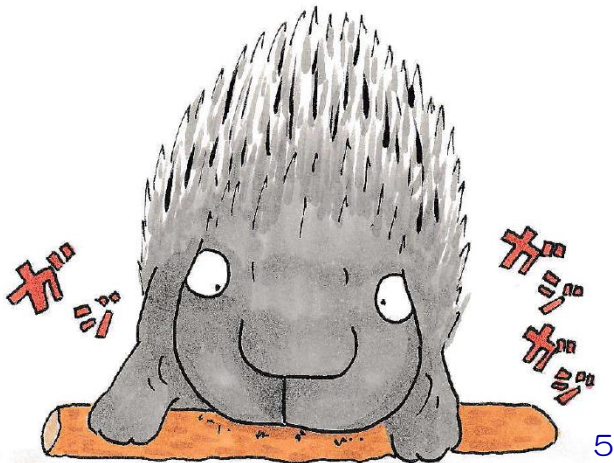
～キリンの枝の再利用～



 榿の木はブナ科の常緑高木を総称する呼び方で、動物園ではアラカシやシラカシをエサとして使用しています。

10  また、木の特性としてとても堅く、耐久性に優れているので道具類や建築用材などに使われています。

かた えだ
硬い枝をかじることで門歯（前歯）が
の伸びすぎないようにします



えだ
枝はヤマアラシのごうかい(?)な
かじりっぷりにより、あっという間に
ちい
小さくなってしまいます



でも、よその動物園から
ひこ
引っ越してきたドゥくんは…



かし き た な
榎の木は食べ慣れていないのか…



ひょうめん うすかわ た す
表面の薄皮だけを食べるのが好きなのです。



げっ歯類の門歯（前歯）は、生涯伸び続けるという特徴があります。そのため、常に物をかじってすり減らす必要があるのですが、飼育下ではエサ以外にかじることができる物も与えています。

「アフリカゾウの骨格標本」について

担当係長 兵頭 佳夫



☆はじめに

とべ動物園では、1988年9月よりアフリカゾウを飼育しており、現在国内でアフリカゾウの家族を見ることができるのは当園だけです。その子どもたち、媛と砥夢（現・多摩動物公園）、砥愛の父親であるアフが、2016年4月14日に亡くなりました（当時推定29才・体重約5200kg）。死亡後全身骨格の標本を作製したので、その過程をご紹介します。

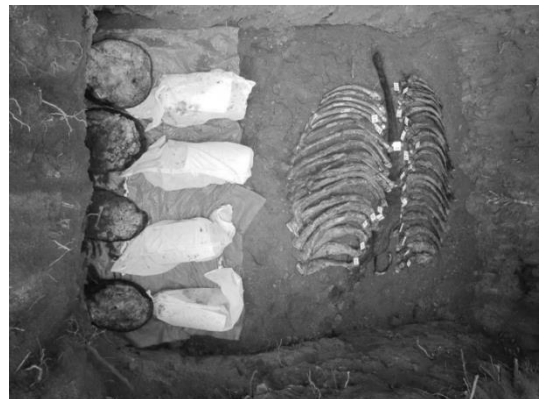
骨が大きく、また大量だったので、発掘後に分かりやすいように各部位ごとに2層に分けました。足首などの小型の骨は拡散を防ぐためにネットに入れ、埋没状況を克明に記録しました。



アフリカゾウのアフ



1層目



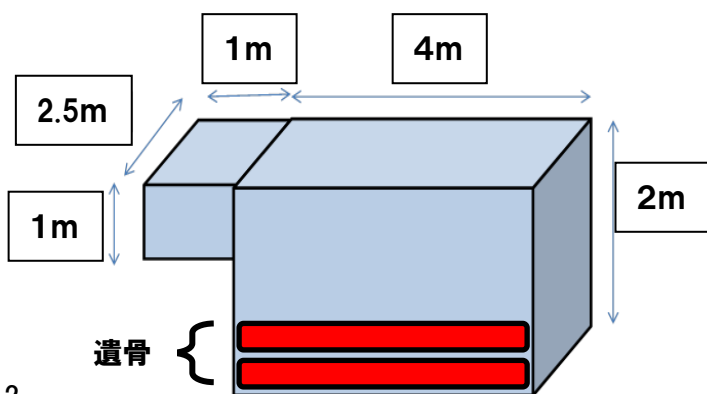
2層目

☆方法

標本作成には解剖後、骨から肉を取り除いて地中に埋める「地中埋没法」を採用しました。埋没場所は遺骨の運搬が容易なゾウ舎横の斜面としました。2016年4月18日、埋没場所の植栽を撤去しパワーショベルで縦2.5m 横5m 深さ2mの穴を掘り、その底面に遺骨を埋没しました。



埋没作業の様子



埋没全体図

☆発掘

埋没期間が長期になると骨の色素沈着が進行するため、白骨化がほぼ完了したと思われる 2021 年 2 月 10 日より発掘に取り掛かりました。道具は剣先スコップや角スコップ、ツルハシ、移植ごてを使用し行いました。埋没時の写真を手掛かりに、大まかな場所を決めて作業を開始しました。まず表面の植栽を撤去し、遺骨に到達するまで土砂を掘り起こしました。



埋没場所

掘り起こした土砂は発掘場所の周りに山積みにしていましたが、穴が深くなるにつれて土砂の搬出が困難になってきたため、袋に詰めて運び出すことにしました（1袋約 15 kg×200 袋計 3t）。運び出した土嚢はヒョウ舎横に保管することにしました。また、深くなるにつれて壁面の崩壊の危険性や、最深部への降下が困難になったため、穴を一部拡張し、2段構造にしました。最深部へは1段目の穴から、はしごを使用し降下しました。



大量の土嚢

遺骨に到達すると、その遺骨から全体の埋没状況を推測して作業を進めました。また遺骨を傷つけないよう、移植ごてを使用して慎重に発掘しました。ネットに入れたとはいえ足先などの小さな骨は、紛失を防ぐため細心の注意が必要でした。



遺骨に到達



慎重に発掘を進めます



見事に白骨化しています

総重量 30t 以上に及ぶ土砂の掘り起こしをすべて人力で行ったため、作業には 47 日を要し、3 月 27 日に発掘が完了しました。



部位ごとに固定

掘り起こした遺骨は、水で洗ったり、土を落としたりしてから、骨の順番や向きが分かるように部位ごとに紐で固定し、園内の動物病院前（管理ゾーン）まで運搬しました。

☆洗浄

細かな土が骨の表面に入り込んで落ちないため、大きな骨は高圧洗浄機を使用して一つずつ洗浄しました。これにより骨についた不純物の大半が除去できました。



高圧洗浄機も使用



下顎骨



骨盤

☆保管

洗浄、乾燥した後に獣医師が骨の状態や個数を確認した後、紛失を防ぐため一旦保管場所に移しました。調理棟（管理ゾーン）の2階に遺骨保管場所のスペースを作り、そこで保管しています。



大腿骨や肩甲骨など



調理棟2階の保管場所



部位ごとに保管

遺骨の中で最も大きな骨である頭骨は、ふれあいセンター1階にあるアジアゾウの骨格標本の隣で2021年6月より展示しています。アフリカゾウとアジアゾウの大きさの違いを間近で比較することができます。



展示中の頭骨



インドゾウとアフリカゾウを比較展示

☆まとめ

掘り起こした土砂は、体積が約 22.5 m³、重さにして 30 t 以上にのぼりました。今回の作業ではそれを全て人力で行ったため、大変な重労働になり、発掘期間も長期にわたりました。発掘終了後も骨の洗浄や個数の確認、保管作業、さらに掘り起こした場所の埋め戻し作業もあり、完全に作業が終了するまで約 11 カ月もかかりました。



埋戻し後

今後、このような大型動物の標本作製の際には比較的小型の手指骨や尾骨などは地中埋没法ではなく、煮沸や薬品による徐肉、野ざらし法などを検討しても良いと思われました。地中埋没法では小型の骨は紛失する可能性があります。これらを採用すれば紛失や掘り起こしの際に起こる破損の可能性は低くなります。



子どもと触れ合うアフ (2011年)

今回のアフのように、動物園で飼育している動物たちの中には生きていただけでなく、亡くなった後も骨格標本のような貴重な資料として残り、役目を果たしてもらうことがあります。後世に資料としての標本を残すことも動物園の重要な使命のひとつです。



このページでは、とべ動物園で
仕事をしている職員を紹介して
います。



★氏名を教えてください。

村上 郁 (むらかみ あや) です。

★出身地並びに出身地でのエピソードなど。

上島町の岩城島出身です。海に囲まれた自然豊かな環境で育ちました。小さい頃は、夏になると毎週のように海に行き遊んでいました。

★学生時代の思い出・または前職のお話を教えてください。

東京農業大学の畜産学部にも所属していました。家畜繁殖学に関する研究室で、牛の卵子について研究していました。研究室で色々な動物を飼育していて、私はニワトリやウズラのお世話を担当していました。

前職は、山口県にある動物園で飼育員をしていました。

★趣味を教えてください。

登山やランニングなど、体を動かすことが好きです。愛媛ではまだ登山に行けていないので、今後チャレンジしたいと思います。

★なぜ飼育員を志したのですか？

子どもの頃から生き物が好きで、様々な生き物に関わることができる動物園の飼育員に憧れ、目指すようになりました。

★就職が決まった時の感想は？

まさか合格できると思っていなかったもので、とても嬉しかったです。それと同時に、新たな環境でより一層頑張ろうと気が引き締められました。

★現在担当のお仕事は？

アンデスコンドル、オジロワシ、カラカラ、クマタカ、フンボルトペンギンを担当しています。副担当では、ホンダタヌキやコツメカワウソ、レッサーパンダなどを担当しています。

★動物園の中で好きな動物は何ですか？

理由も教えてください。

鳥類が好きです。野鳥を観察するようになったのがきっかけで、鳥が好きになりました。鳥によって行動や習性が様々で、不思議で興味深いと感じます。担当動物が全て鳥類なので、毎日観察していてとても面白いです。

★これまで経験してみて、仕事で嬉しかったことはありますか？

小学生のお子様が、フンボルトペンギンについて調べ、新聞形式にまとめてくれたことです。ペンギンについて沢山質問をしてくれて、興味を持ってもらえたのが嬉しかったです。完成した新聞も見せていただき、私自身もとても勉強になりました。

★座右の銘を教えてください。

「なんとかなる」です。常にポジティブな考えを持ち、前向きに行動していきたいと考えています。

★最後に意気込みをひとこと

担当動物たちが元気よく過ごせるように、責任感をもって飼育管理に取り組んでいきたいです。また、来園者の方に動物の生態や魅力を分かりやすくお伝えできるように頑張ります。

読者投稿用紙

料金受取人払郵便

松山南局承認

1067

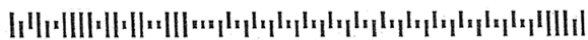
差出有効期間
2025年3月
14日まで

〒791-1190

伊予郡砥部町上原町 240

愛媛県立とべ動物園

愛媛動物友の会編集部 行



②7455

②7455


のりづけ③


きりとりせん




読者投稿用紙


(イラストや写真も同封できます)

 読者の皆様の原稿をドシドシお寄せください。


 Vol.34-4号でよかった記事、
つまらなかった記事は？


 どうぶつなぞなぞクイズの答え
(正解者のお名前は
Vol.35-1号でご紹介します)

答え ○○○

 今後希望する記事・内容は？

(クイズの問題はP19参照)

 例会でよかった点、つまらなかった点は？

 例会で今後希望する企画は？

お名前

会員番号

★友の会 家族・個人

★サポーター No.

会員の方は会員種別に○をし、会員番号をご記入ください。

住所

〒

電話番号

どうぶつなぞなぞクイズ

☆問題です！

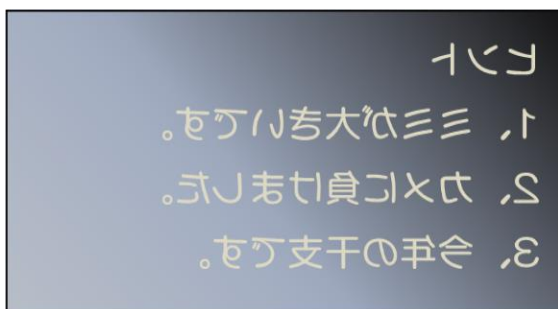
アメリカで酒場を 2 軒
持っている動物がいま
す。
この動物はな～んだ？



酒場 酒場



答え 〇〇〇



☆前回の問題

百貨店やスーパーなどでお麩を販売するアルバイトをし
ている動物がいます。さて、この動物な～んだ？

ヒント

- 1、ユーラシア大陸と
北アメリカに生息します。
- 2、イヌ科の動物の中で
最大になります。
- 3、日本では絶滅された
とされています。



お麩を販売→お麩を売る→売る麩→ウルフとなり
ウルフはオオカミになります。

答えはオオカミでした！

Vol.34-3 クイズ正解者

- ★会員番号 No. 11 矢野 敬子さん
- ★会員番号 No. 21 音地 秀起さん
- ★会員番号 No. 50 森 幸子さん
- ★会員番号 No. 52 田中 早苗さん
- ★会員番号 No.137 林 信子さん
- ★会員番号 No.152 瀬戸 遼人さん
- ★会員番号 No.75(家) 藤光 徹さん
琉愛さん
碧生さん
- ★会員番号 No.76(家) 尾崎 ゆずさん

- ★サポーター 菅原 あいこさん
- ★サポーター 藤原 美穂さん
- ★サポーター 三池 京子さん
- ★サポーター 村井 桂子さん
- ★サポーター 山崎 亜紀さん
- ★サポーター 中野 桂子さん

正解の方々にはオリジナルポストカード
セットをお送りします。

応募要項

読者投稿用紙のクイズ解答欄に答えを記
入して郵送するか、メールでお便り下さ
い。締め切りは 4 月 10 日までにご応募
ください。

開園案内

- 開園時間 — AM9:00～PM5:00
入園午後 4:30 まで
- 休園日 — 毎週月曜日
(祝日の場合は翌平日)
年末年始
(12月29日～翌年1月1日)
- 入園料 — 大人(18歳以上)500円
高校生(15～17歳)200円
小中学生(6～14歳)100円
(30名以上の団体2割引)
- ホームページ — <https://www.tobezoo.com/>
- メールアドレス — tomonokai@tobezoo.com

とべZOO Vol-34 No.4号

令和5年発行 定価 200円(消費税込)
編集・発行人/公益財団法人愛媛県動物園協会
〒791-2191
愛媛県伊予郡砥部町上原町 240
印刷/公益財団法人愛媛県動物園協会
編集委員長/前田 洋一
編集副委員長/宮内 敬介
編集委員/池田 敬明・宮越 聡・平澤 萌
吉武 ちとせ・西森 明弥・村上 ひなの
森貞 恭治・白湯 綾・池田 智亮



ノマウマ



愛媛県立とべ動物園

〒791-2191 愛媛県伊予郡砥部町上原町240

TEL089-962-6000

動物取扱業に関する表示

申請者の氏名：公益財団法人 愛媛県動物園協会

事業所の住所：愛媛県伊予郡砥部町上原町240

登録番号：動愛第441号（展示）、動愛第994号（販売）

動愛第995号（保管）、動愛第996号（貸出し）

登録年月日：平成19年5月31日（展示）

平成29年5月31日（販売、保管、貸出し）

事業所の名前：愛媛県立とべ動物園

動物取扱業の種別：展示、販売、保管、貸出し

動物取扱責任者の氏名：椎名 修

登録の有効期間の末日：令和9年5月30日